

平成28年度 庄内支部第1回勉強会報告

テーマ：既往歴・合併症に心疾患がある対象者への理学療法のすすめかた

日時：平成28年4月20日(水)19:00～20:30

会場：庄内余目病院リハビリテーションセンター

平成28年度庄内支部の第1回勉強会は、鶴岡協立病院 理学療法士の荒生紀子先生と、日本海総合病院 理学療法士の本間豪先生を講師にお迎えして行われました。

当初は、1題目『循環器の基礎』を鶴岡協立病院 循環器科医師の佐藤陽子先生よりご講義いただく予定でしたが、佐藤先生に代わり急遽、荒生先生より資料の解説の形でご講義いただきました。かつて学んだ生理学の内容を思い出しつつ、さまざまな不整脈の特徴や危険度について知識を整理する良い機会になったと思います。「循環器」と聞くと難しい印象を持つ方が多いかもしれませんが、このような基礎知識を時にふり返り、理解を深めていく学習の上に、臨床場面での応用力もついてくるのではないのでしょうか。

2題目は、本間先生より『循環器疾患へのフィジカルアセスメント』と題してご講義いただきました。患者さんを目の前にして「何を手がかりに、どう感じ取り、どんな変化に気づけるか」、このことを自分でできるようになるヒントが得られたのではないのでしょうか。何気ないバイタルサインも、事前の情報収集や、自分なりの仮説を立てて測定することで、数値の意味も違って見えてきます。患者さんの身体に直接触れる時間・機会が多い仕事であるという私達PTの強みを活かし、「普段の状態」をきちんと把握できるようになることが、「変化」に気づけるPTになる近道であるように思います。

普段、循環器疾患は既往歴でしか目にする事が出来ない、急性期での理学療法には馴染みがない、といった会員にとっても、学びの多い勉強会となったことと思います。平日の夜にもかかわらず、100名を超える会員に参加いただき、年度初めから幸先良く支部活動をスタートすることができました。

今後とも当活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(文責：中西智)



